

【高等学校用】

令和5年度学校評価計画

様式1(高等学校)

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立伊万里高等学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上については、特に家庭学習時間の確保や低学年からの基礎学力の積み重ねの面で課題が残る。各教科を中心に本校独自の指導体制の確立を図りつつ、生徒の学習意欲の喚起のための方策を練っていく必要がある。 ・業務改善・教職員の働き方改革の推進の面ではさらに改善の余地がある。次年度は、職員アンケート等を実施して現状の把握に努め、行事の精選やその運営方法等についても継続的に協議していく。 ・SAGAスマート・ラーニング(SSL)については、#キセキ部を中心に生徒自らが地域と密に連携を取りながら計画立案し、地域とつながる魅力や課題を考え、解決しようと積極的に活動している。また、地域の物的資源や人的資源を活用した講演会やボランティア活動等も実施している。その結果、地元へ愛着を感じる生徒が増えている。次年度も活動範囲を広げること、学校の魅力を発信していく。
------------------	--

2 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自然を尊び郷土を愛し、人としての優しさに満ちた豊かな人間性と、自らの生き方に目を向けてよりよく生きる自主自律の精神を育てる。(自律) ○個性と創造性を伸ばす個に応じた教育を進めるとともに、高い志を持ち、自ら判断する力、自ら学ぶ力と学んだことをもとに発信する力を育成する。(創造) ○急速に進む高度情報化社会において、情報活用能力やコミュニケーション能力が必要とされる時代に、互いの存在を認め合い敬意をもって接し、皆が安心して過ごせるような配慮や気づきのできる人材を育成する。(友愛)
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>「地域に信頼され、期待に応える普通科進学校を目指す」</p> <p>①志を高める教育 ②学力向上と進路保障 ③自己有用感の育成 ④地域との連携の強化</p> <p>の4つの観点で魅力ある唯一無二の誇り高き学校作りを目指す。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	○家庭学習時間の確保	○生徒の学習習慣の確立(学年+1時間の家庭学習時間の確保)	・授業と運動した効果的な課題の提示 ・予習・復習・テスト勉強の徹底 ・各生徒の志望進路に応じた長期的・計画的な指導の工夫 ・家庭学習時間の増加につながる指導の研究							進路指導部
	○授業の充実と教科指導力の向上	○学校評価アンケートにおいて、「あなたは伊万里高校の授業に満足している・どちらかというと満足している」と回答した生徒80%以上	・教科の枠を超えて、授業を見学しあえる機会を増やす。 ・教材研究や生徒支援の時間を確保するための業務の効率化。							教務部
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校アンケートにおいて、「あなたは充実した学校生活を送っている」と回答した生徒が80%以上	・全校集会・学年集会・始業式・終業式等で、豊かな心を身に付ける講話を実施 ・各クラスで適宜、社会性や倫理観を育むような指導の実施							生徒指導部、総務部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ解消率100%	・少なくとも3回/年はアンケートを実施し、いじめの積極的な認知と、解決に向けた迅速な支援を行う ・面談週間等を通じて、生徒の悩みの早期発見に努める。 教育相談係や学年団との定期的な情報交換(週1回)							生徒指導部、教育相談
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」生徒が85%以上	・郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した取り組み ・「さがを誇りに思う教育」講演会の開催 ・「伊万里学講演会」の開催							総務部
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上 ○「毎日朝食を摂る」生徒80%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・集会や保健だよりによる啓発 ・保護者への個別の連絡							保健厚生部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会会則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○時間外勤務を昨年度比で10%以上削減する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・生徒の登校時刻の設定							教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
○変化する社会に対応できる確かな学力の育成	○変化する社会に対応できる確かな学力の育成	○地域の物的資源や人的資源を活用した講演会やボランティア活動等を含めて年3回以上実施	・カブトガニ産卵地清掃ボランティア活動 ・職業セミナーの実施 ・#キセキ部プロジェクトの実施 ・伊高寺子屋の実施							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--